

一般質問から

市政に対する

一般質問



平成15年第2回定例会の一般質問は、6月13日、16日、17日の3日間行われ、18人の議員が56項目の質問事項について、市の見解を求めました。ここでは、各議員の主な質問事項の要旨について紹介します。

色覚のバリアフリー化について

Q 八潮市の印刷物やごみ・資源収集カレンダー、市のホームページ、公共施設の案内表示などにおける色覚バリアフリー化(色盲、色弱の色覚特性)についてお尋ねします。

小倉 順子

A 「色覚バリアフリー社会」の構築が必要であるとの主張もごさいますように、市といたしましても、すべての市民にわかりやすく行政情報を発信することは何よりも大切なことと理解しておりますので、市民への配布物の作成、あるいは案内表示などを設置する際には配色や明暗、濃淡などに注意し改善を図るよう、今後努力してまいりますので、御理解賜りたいと存じます。

近年、カラー印刷技術の発達やパソコン、インターネットの普及により、色彩の鮮やかな情報を発信することが可能となり、使用している色そのものに重要な情報が含まれていたり、発光ダイオードやレーザーなどの光源を多用して表現する傾向が強まっています。

「信号機」の設置について

Q 伊草・大原線、通称青葉通り八潮高校西口に通じる交差点に信号機を設置することについて、平成13年度第一回定例会で同質問、市の答弁で、草加警察署に対し「押しボタン式信号機」の設置について要望しているところでありますが、実現に至っていません。

豊田 吉雄

A 信号機設置の要望については、市内全域を対象とします。要望箇所数が多くなっております。信号機設置の要件は、車両交通量、歩行者、自転車利用者数等を勘案しより危険度の高いと判断される交差点から順番に設置されています。市は要望された時点で現地調査を実施していますが、現在埼玉県警において設置箇所の調査を行っている聞いています。引き続き実現されますよう努力して参ります。

障害者の自立支援とその家族への援助について

Q 来年度、三郷養護学校を卒業する生徒たちの通える施設がなく在宅になるのを心配する声が保護者や手をつなぐ親の会から出されています。障害者の自立支援と家族への援助の見直しをお聞かせください。

池谷 和代

A まびこ福祉作業所「わかきさ福祉作業所」、八潮市手をつなぐ親の会が運営する「デイケア施設虹の家」の3施設があります。今後、市としては、市内3ヶ所のデイケア施設利用者的一般就労への移行を進めつつ、利用定員の調整を図り、より一層の効率的な運用に努めるとともに、新たなデイケア事業者の参入を促すことで、デイケア施設の利用を、希望する方に対応していきたいと考えています。

養護学校を卒業される皆さんにとって施設利用の面では、授産施設については支援費制度での利用となり、県内外の施設の利用が可能となりましたが、施設数が十分でなく利用が制限されています。心身障害者地域デイケア施設については、市が運営する「や

小学校校庭の天然芝生化について

Q 小学校校庭を芝生にすることは、埼玉県が推進する「5つのふれあい県民運動」の一環として、天然芝の維持管理と緑あふれる校庭の利用を通して、積極的に自然、そして地域の人々とふれあい、安全で健康的な環境で生きる力を育みます。一方で、全国に誇れる魅力ある教育環境の実現は、八潮市の誇れるまちづくりにも貢献できるものと考えますが、教育委員会のご見解をお聞かせください。

森 伸一

A 用がかかること等の問題点もありますが、生きた環境教育の教材として、芝生の維持管理に参加させることにより、環境に関心を持ち、慈しみの心、社会性公共心等を養い集団活動ができる態度を育成することができると等の効果及び環境保全上の効果は期待できるものと認識しております。今後は、先行事例も参考にしながら、調査研究してまいりたいと考えております。

心の健康診断について

Q 複雑な環境のなかで、精神を病む人が多く、不登校・暴力・ひきこもりなど様々な弊害が起きています。精神衛生面での充実のため、学校、市役所、保健センターでの健康診断時にまず問診表からの心の健康診断を実施する考えについてお尋ねします。

郡司 伶子

A 問診表の扱いやチェック後の相談体制など精神科医等の意見を聞きながら研究して参りたいと考えております。

A 心身ともに健康であることが大変難しい現代社会で体と同時に心も振り返ることは大切なことです。健康診断時に簡単に行える心の健康チェックとして、自己チェック質問票等が有効とは考えませんが、現状の

